

都屋きものだより

平成二十三年 十一月
第七十三号 平成二十三年

十一月一日発行

【今月より一日発行に変更】



(有)都屋呉服店

〒506-0844 高山市上一之町三六番地

電話 フリーダイヤル〇二二〇二九〇一三二

きものエッセンス28◆七五三◆

昔は子供の死亡率が高かったためその成長を祈り、
祝う大切な通過儀礼があった。【髪置きかみおの儀・袴着はかまぎの儀・帯解きの儀】江戸時代に呉服屋がそれらを一つに
まとめ江戸の町で広めたのが現代の七五三だそう
だ。子供の成長を祝う大きな節目の日なので、親も
きものを着て、神社仏閣にお参りしていただきたい
ものだ。大切な日を写真撮影だけで終わらせては
もったいない。

※このコラムは毎月第一水曜日に市民時報に掲載されています

きものと帯の文様について②

◆七宝【しっぽう】…同じ円を円周の四分の一ずつ重
ねていく文様で、輪繋【わつな】ぎ(二つ以上の輪を重
ねる文様)の一種。七宝は仏教で金、銀、瑠璃【るり】、
※玻璃【はり】、珊瑚【さんご】、瑪瑙【めのう】、真珠の
貴重な宝を指すが、いつからかこの文様の名になった。
染織品や工芸品に多用される、大変なじみ深い文様。
◆青海波【せいがいは】…波文様の一種。同心円を互い
に重ね、一部が扇形状に重なり合った文様。起源は古
くすでに人物埴輪【はにわ】に衣文に見られ、陶器や蒔
絵、舞楽装束や能装束、小袖などに用いられてきた。

◆籠目【かごめ】…竹で編んだ籠の、編み目をそのまま
文様化したもの。幾何構成の連続文様だが、編み目に
一つを紋章にしたものもある。小紋や帯の地紋にもよ
く見られる。

①七宝・青海波・籠目横段詰め【袋帯】



袋 帯
¥365,000

【お仕立て上がり・税込】

◆胡麻【ごま】…肥前へ現在の佐賀県・長崎県辺りへ
鍋島藩の定【さだめ】小紋柄ともいわれ、胡麻のさ
やの切り口を図案化したもの。格調がありながらも、
花文様に似た可愛らしさがあり人気がある。

②胡麻【江戸小紋】

非常に細かくてかわいらしい柄の入った江戸小紋で
す。遠目では無地に見えますが、無地よりも格調高
く応用範囲が広いのが江戸小紋のよいところです。



江戸小紋
¥298,000

【お仕立て上がり・税込】

◆格天井【ごうてんじょう】…方形に組んだ木の上
に板を張った天井のことで、神社仏閣に多く、間の

部分にはその時代の雰囲気を表わす壮麗、重厚な絵
が描かれている。格天井文は天井画のように格子の
中に様々な絵柄を収めた文様をいい、礼装のきもの
や帯に多く使われる。

③格天井文【袋帯】

華やかで格調高い格天井文はフォーマルのきものに
合わせた袋帯の柄によく用いられます。箔のしなや
かさがあふれる豪華な袋帯です。



袋 帯
¥498,000

【お仕立て上がり・税込】

今月は喪服と黒紋付をおすすめします！

黒紋付一式のお値段

男物冬物一色のお値段です

- ◆黒紋付衿きもの
¥176,000【仕立上がり・税込】
- ◆黒紋付袷羽織
¥179,000【仕立上がり・税込】
- ◆長襦袢
¥108,000【仕立上がり・税込】
- ◆角帯
¥68,000【仕立上がり・税込】
- ◆羽織ひも
¥18,000～
- ◆仙台平袴
¥278,000【仕立上がり・税込】
- 合計 ¥827,000
- ◆黒紋付単衣羽織
【5・6月と9・10月】
¥121,000【仕立上がり・税込】
- 合計 ¥948,000

袷喪服一式のお値段

- ◆袷喪服
¥140,800【仕立上がり・税込】
- ◆白長襦(単衣袖無双)
¥75,000【仕立上がり・税込】
- ◆黒名古屋帯
¥72,000【仕立上がり・税込】
- ◆帯 × ¥28,000
- ◆帯揚げ ¥8,800
- 合計 ¥324,600
- ◆袷喪服
¥111,000【仕立上がり】
- ◆袷長襦袢
¥74,600【仕立上がり】
- ◆袷黒名古屋帯
¥72,000【仕立上がり】
- ◆夏用帯 × ¥10,800
- ◆夏用帯揚げ ¥9,800
- 合計 ¥278,200
- 夏冬合計 ¥602,800

喪服と黒紋付は飛騨では道具として必要なものです。普段は着ないものですので、お買い上げ後は「きものバック」に入れ、長期間お手入れしなくてもよいようにいたします。またお召しになった後は、私どもで責任を持ってきれいにいたします。

お値段は高いかもしれませんが、間違いのないものをお勧めいたします。ご検討くださいませ。

袴は大丈夫ですか？

今年の秋の高山祭は三連休で、なおかつ晴天に恵まれて多くの観光客で賑わいましたね。

さて、お宅の袴は大丈夫ですか？ 永年使用していると袴の袴の折り目が裂けてきたり、肩衣の肩の部分に破れたりしてきます。直せるものは直しておきましょう。一度拝見いたしますので、お気軽にお持ちください。

修理ができない場合はぜひご検討ください。←

黒色鮫小紋袴一具 【¥298,000】

※防水加工済みです。少々の雨ははじきます。ご注文の方に袴着付けのDVDをお付けします。

きもの染め替え加工

染め替え↓仕立代込み

五万五千元にて承ります

糊糸目友禅の会

とき…十一月二十五日(金)～二十八日(月)

あさ九時～よる九時まで

ところ…弊社にて

訪問着・付け下げ・色留袖そして黒留袖。フォーマルの逸品をご覧いただきたく存じます。来春のお出かけにいかがでしょうか？

家紋についてお聞きしました

上三之町にある「中林もんや」の中林彰さんに家紋についていろいろお聞きしてきました。

「高山で一番多い家紋はなんですか？」

中林 丸に劔方喰「けんかたばみ」です。特に国府地区はほとんどが劔方喰の紋です。

「それ以外に多い紋は何ですか？」

中林 桔梗「ききょう」も多いです。あと鷹の羽「ちがいたかのは」・三つ柏「みつがしわ」・橘「たちばな」・左三つ巴「ひだりみつどもえ」・七宝に花菱「しっぽうにはなびし」・五三ノ桐「ごさんのかきり」なども多いです。鶯「う」は繁殖するというところで、縁起のいい紋です。五三ノ桐は貸衣裳に多いです。

古川地区は七宝に花菱が多いですね。

「高山にしかない紋はありますか？」

中林 「火鉢に火箸「ひばちにひばし」という独特の紋があります。



「一列目上から順に「桔梗」・「違い鷹の羽」・「三つ柏」

二列目上から「左三つ巴」・「五三ノ桐」・「七宝に花菱」

三列目上から「鶯」・「橘」・「丸に劔方喰」

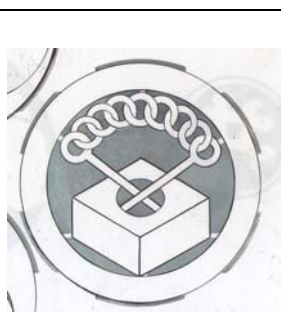
飛騨では男性の家紋には丸を入れることが多い。だから桔梗が家紋であれば、女性は「桔梗」男性は「丸に桔梗」ということになる。

しかし、「左三つ巴」は丸をつけることはほとんどなく、男性も女性も「左三つ巴」である。

また、家によっては男性と女性の紋が違ってくるがある。

左上が飛騨独特の紋「火鉢に火箸」下は「渡辺星」

「わたなべし」で渡辺姓の家に多い家紋。



◆編集後記◆

今月は文様に加えて、家紋についても勉強しました。多いとは思っていましたが、やはり飛騨は「劔方喰」が一番多いそうです。バランスのいい素敵なお紋ですね。

発行人：長澤直彦【携帯】090-1467-5907

◆次号予告◆

着物と帯の文様③・平成二十四年年間予定

【Email】panron info@hidamiyakoya.com

メール配信希望の方は、メールにてお知らせ下さい。

【都屋ホームページ】http://www.hidamiyakoya.com

カード各種使えます

